

令和3年産 麦類技術情報 第1号

令和2年12月21日

宮城県美里農業改良普及センター

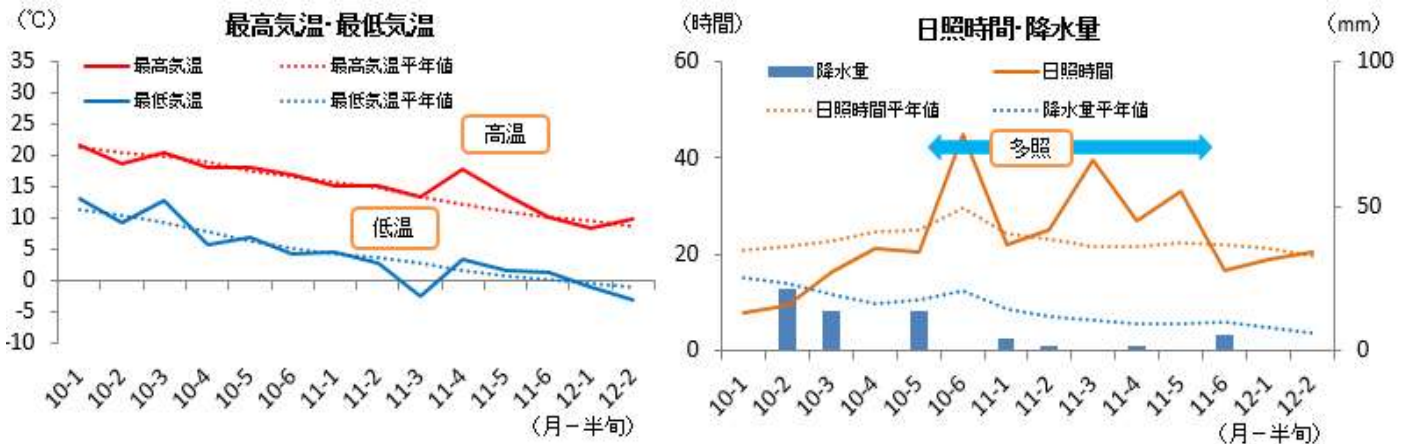
TEL 0229-32-3115 FAX 0229-32-2225

URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



生育状況やほ場条件を確認し、積極的に麦踏みを実施しましょう！

1 気象経過 (10月第1半旬～12月第2半旬：アメダス鹿島台)



気温は平年に近い推移となったが、11月第3半旬に最低気温が低く、11月第4～第5半旬に最高気温が高くなった。日照時間は10月第6半旬から11月第5半旬まで平年並みか多く経過した。

2 生育調査ほ生育概況

表 小麦生育調査結果

地区名	地点	品種	播種量 (kg/10a)	条間 (cm)	播種日			12月15日調査					
								草丈			茎数		
					本年値	前年差	平年差	本年値 (cm)	前年比	平年比	本年値 (本/m ²)	前年比	平年比
大崎市 鹿島台	大迫	シラネコムギ	14	25	10月22日	27日早	13日早	16.3	774%	369%	1468	692%	292%
涌谷町	猪岡 短台	夏黄金	12	20	11月1日	10日早	7日早	9.1	154%	144%	315	86%	96%

※平年値は過去5か年の平均値を使用(夏黄金は過去3か年)。

10月22日播種のシラネコムギでは、草丈・茎数とも平年より大幅な増加(平年の3月並み)となった。11月1日播種の夏黄金では、平年と比べて草丈はやや長く、茎数はやや少なかった。

一般ほ場では、10月中に播種したほ場は葉数が進み、茎数を多く確保しており、麦踏みを年内に実施できる生育状況となっている。11月上旬頃の播種では分けつが始まってきたところ。11月中旬以降は出芽揃い～未出芽の状況。

3 今後の管理について

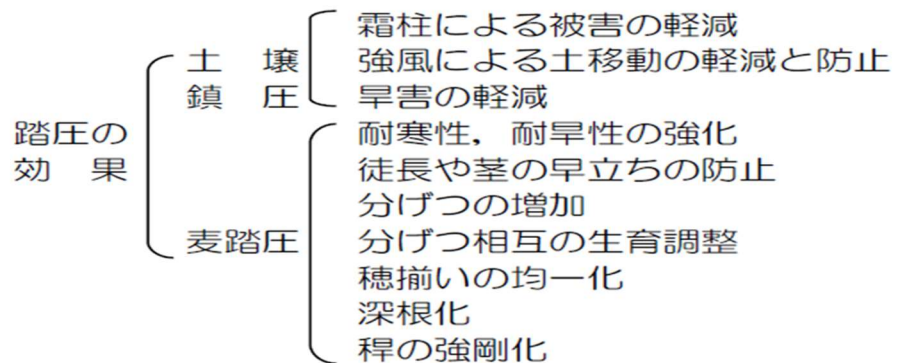
(1) 麦踏み：離乳期に達したほ場では積極的に実施しましょう。

○効果

- ・乾燥，強風，暖冬時に高い効果。小麦より大麦，地力の低いほ場で効果が高い。ただし，過湿条件や重粘土壌では逆効果の場合も。

○作業時期と回数

- ・離乳期（3～4葉期）から茎立ち前まで（主稈長 2cm，幼穂長 2mm 程度）。
- ・越冬前（凍結層ができる前）に 1 回，越冬後に 1～2 回実施。
- ・早播きや伸びすぎ，軽しよう土ほ場，暖冬年には大きな効果が期待できるので回数を多く実施（遅播きや過湿ほ場は回数を少なく）。



(2) 排水対策：麦作の基本です。しっかり対策しましょう。

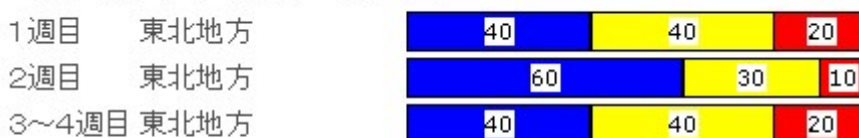
過湿条件では，根の伸長抑制や浅根化による分けつ減少，葉の黄化等の障害が発生するため，麦類では排水対策が重要です。また，麦踏みや追肥等の作業を適期に行うためにも，しっかりとした排水対策を実施しておくことが大切です。

- ・ほ場を巡回して水が停滞する場所が無いか確認しましょう。
- ・明きよの状態を確認し，円滑に排水できるよう手直しをしましょう。

3 東北地方 1 か月予報（12月19日から1月18日までの天候見通しより抜粋）

向こう 1 か月は，東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北地方の平均気温は，低い確率が 60%（週別は下図参照）です。東北太平洋側の降水量は，少ない確率が 40%，日照時間は，多い確率が 40%です。東北日本海側の降雪量は，多い確率が 50%です。

<気温経過の各階級の確率(%)>



凡例: ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

【令和2年12月17日
仙台管区气象台 発表】